

「河合町学校再編方針」に関するパブリックコメントの結果について

(適正規模について)

いただいたご意見	町の考え方
河合町の財政は危機的な状況と聞きますが、仕事を持つ若い世代を増やすためには、認定子ども園などの子育て支援の施設・政策を充実させることが必要ではないか。その中で小学校の再編は逆効果ではないか。	全国的に少子高齢社会を迎え、少子化は今後も進むことが予想されるなか河合町においてもその傾向が現れています。学校では単に教科等の知識や技能の習得だけでなく、社会性や規範意識を身に付けることも重要です。そのためには、再編によって一定の規模の児童生徒集団を確保することが望ましいと考えます。
第三小学校区では地域で学校を支える意識が強く、子どもの成長を支えるコミュニティづくりを実践してきました。また、少子化対策を行うにも学校統廃合は子育ての不便さとしてマイナス要因となりかねません。現在の小学校区を当面の間維持し、少人数でも教育内容を充実させることで子育て世代を呼び込むことにはなるのではないか。	各学校区では、学校支援ボランティアや子どもの見守り隊をはじめ様々な形で学校を支援いただいています。本方針は、現在又は将来学校に通学する河合町の子どもたちにとって、より良い教育環境を提供するために策定しました。

(適正配置について)

町の基準では通学距離3 km以内となっているが、交通量や通学経路を考えると許容範囲とは思えない。また、通学時間の観点からも、不審者がどこにいてもおかしくない今の時代に、それだけの時間を歩かせることは適正とは思えない。 町が送迎バスを準備する等、どのようにして子どもの安全を守るのか対応策を示してほしい。	通学距離につきましては、第三小学校区から第二小学校区まで、遠いところで約2 kmとなります。2 kmという距離は国の基準の4 kmより短く、徒歩による通学が可能な距離であると考えます。 また、通学の安全対策につきましては、西和警察などの関係機関と十分に検討を行っていきたいと考えます。
--	---

(学校統合の目安となる時期について)

学校統合の目安となる時期の「全ての学年が単学級になる時期を河合町の基準とし」とは、何時、どのような組織で決定されたのか。 また、河合町が定める学校の適正規模である「小・中学校とも1学年において2学級以上」と矛盾しているのではないか。	統合の目安となる時期は、河合町立学校規模適正化委員会からの提言及び国の指針等を基に本年3月に本方針を河合町、河合町教育委員会で決定しました。 本方針に定める適正規模は2学級以上あることが望ましいとするものです。
---	--

(小学校再編について)

いただいたご意見	町の考え方
<p>小学校の再編に関して、第三小学校に第二小学校を統合することは検討したのか。</p> <p>また、第一小学校が町の定める学校の適正規模になっていないことに対し、学校運営上の課題にどのような対策を考えているのか、今後、再編についても考える必要があるのではないか。</p>	<p>第二小学校は第二中学校と隣接しており、小・中学校の連携が図りやすいことから第二小学校に統合する方針としました。</p> <p>町の再編の目安は全ての学年が単学級になる時期を基準としています。第一小学校もその時期に検討します。</p>
<p>再編の理由として平成32年度に第三小学校が全学年単学級となるからとあるが、32年度からの統合はあまりにも性急ではないのか。各学年の実人数は何人になると予想しているのか。</p> <p>まず、教育環境・内容の充実に取り組みながら地域の合意形成をはかり、さらに減少する状況であるなら「複式学級」基準である16人を目途に検討してはどうか。</p>	<p>現在、第三小学校の1学年あたりの児童の平均は約35人です。平成32年度には約26人となり、平成35年度の新入学児童は、転入などを考慮しないとして13人となる見込みです。</p> <p>河合町では方針に示しているとおりの「学級数が少ないことによる学校運営上の課題」を考慮して、学校において全ての学年が単学級になる時期を基準としています。</p>

(中学校再編について)

<p>中学校の再編に関して将来は統合の方向とあるが、何時どのような形で統合するかを明確にする必要があるのではないか。</p> <p>また、小中一貫校の選択は、教育重視の視点からも再編と合せて積極的に検討すべき。</p>	<p>中学校の再編、義務教育学校（小中一貫教育）については、方針に示しているとおりの中学校の統合、あるいは平成28年4月の学校教育法改正により追加された義務教育学校（小中一貫教育）と合わせて検討してまいります。</p>
<p>河合第一中学校においても生徒数が減少しており、クラブ活動もままならない状況です。知・徳・体の教育面から中学校も早急に統合すべきと考えます。統合することで新たな友好関係ができ、その多様な考えのなかで切磋琢磨することも非常に大事と思います。</p> <p>また、小中一貫校については、どのようなメリット・デメリットがあるかを保護者、教育者並びに有識者を交えて討議してもらいたい。まずは教育行政から小中一貫校の教育指針を示してもらいたい。</p>	
<p>小中一貫校については、教育的効果やデメリットも十分に検証されておらず、問題点も指摘されているため、慎重に対応すべき。</p>	<p>全国的に義務教育学校（小中一貫教育）の取組みが進んでいます。今後その効果・成果について検証し、慎重に検討してまいります。</p>

(再編により生じる課題への対応)

いただいたご意見	町の考え方
再編により生じる課題への対応に教育内容の充実（魅力ある学校づくり）という項目を盛り込むべき。	実施計画等を策定していく際に盛り込んでいく考えです。
学校再編の検討に際し、改修・廃校予定の施設の改善を放置せず教育環境の改善は引き続き継続すべき。再編後の施設利用にも有効と考える。	必要な箇所については、今後も継続して改善してまいります。
小学校を3校から2校に再編することはやむを得ないと判断しますが、第三小学校の跡地利用については、あらゆる面を考慮して有効利用することを望みます。安易に売却などを考えず、よく検討して街づくりを考えるべき。	河合町として総合的に検討してまいります。

(全般)

<p>平成22年に河合町立学校規模適正化委員会からの提言があったにもかかわらず、今まで行政側から方針が示されなかったことが非常に残念です。</p> <p>また、議会においても特別委員会が平成26年度まで行われたが、新議員による特別委員会の設置の提案も無かったことは、町行政側とともに議員さんたちの怠慢と言わざるを得ない。</p>	平成22年3月の提言を受け平成25年3月に策定した学校再編実施計画書（案）に対する議会特別委員会からの意見、平成28年4月の学校教育法の改正内容を加味し、平成29年3月に本方針の策定に至りました。
--	--